

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 5 区分
【発行日】令和 7 年 2 月 6 日(2025.2.6)

【国際公開番号】WO2024/095500
【出願番号】特願 2024-554099(P2024-554099)

【国際特許分類】

B 6 0 K 13/04(2006.01)

F 0 1 N 3/08(2006.01)

【F I】

B 6 0 K 13/04 Z

F 0 1 N 3/08 B

10

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 11 月 25 日(2024.11.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車両の排気浄化用の添加剤が貯留されるタンクであって、
前記タンクの底壁に設置され、前記添加剤を吸い込み前記タンクの外部に排出するポンプと、
前記タンクの側部外壁から離間するように前記底壁に立設され、前記ポンプの全周を取り囲む貯留壁と、
を備え、
前記貯留壁は、
前記ポンプを取り囲む第 1 壁部と、
前記第 1 壁部の少なくとも一部を取り囲む第 2 壁部と、
を有し、
前記貯留壁の内側には、前記第 1 壁部に囲まれた内側貯留部と、前記第 1 壁部と前記第 2 壁部とに囲まれた外側貯留部と、が形成されている、
タンク。

30

【請求項 2】

前記貯留壁は、
前記内側貯留部と前記外側貯留部とを接続する第 1 開口部と、
前記外側貯留部と前記外側貯留部の外側の領域とを接続する第 2 開口部と、
を有し、
平面視における前記内側貯留部の中心に対する周方向において、前記第 1 開口部と前記第 2 開口部とは 180°以上離れるように配置されている、
請求項 1 に記載のタンク。

40

【請求項 3】

前記第 2 壁部は、前記第 1 開口部側に位置する第 1 開口部側部分と、前記第 2 開口部側に位置する第 2 開口部側部分とを有し、
前記側部外壁は、前記第 2 開口部側部分に近接する側壁部を有し、
前記第 2 開口部側部分は、前記第 2 開口部に近づくにつれて前記側壁部に対して徐々に離間する、
請求項 2 に記載のタンク。

50

【請求項 4】

前記外側貯留部は、平面視における前記第 1 壁部と前記第 2 壁部との間の幅が、平面視における前記第 2 開口部の開口幅よりも広い拡幅部を有する、
請求項 2 に記載のタンク。

【請求項 5】

前記拡幅部は、前記第 1 開口部の近傍に設けられる、
請求項 4 に記載のタンク。

【請求項 6】

前記貯留壁の外側において前記タンクの前記底壁に立設された副壁部をさらに有し、
前記副壁部は、前記第 2 開口部に対向して配置されている、
請求項 2 に記載のタンク。

10

【請求項 7】

前記副壁部は、前記貯留壁の外面に接続されている、
請求項 6 に記載のタンク。

【請求項 8】

前記第 2 壁部は、前記第 1 開口部側に位置する第 1 開口部側部分と、前記第 2 開口部側に位置する第 2 開口部側部分とを有し、
前記側部外壁は、前記第 2 開口部側部分に近接する側壁部を有し、
前記副壁部は、前記貯留壁の前記外面から前記タンクの前記側壁部に向かって延出し、
前記副壁部は、その延出途中において、その先端部が前記第 2 開口部の側に向くように
、折曲部を有する、
請求項 7 に記載のタンク。

20

【請求項 9】

前記第 2 壁部は、前記第 1 開口部側に位置する第 1 開口部側部分と、前記第 2 開口部側に位置する第 2 開口部側部分とを有し、
前記側部外壁は、前記第 2 開口部側部分に近接する側壁部を有し、
前記副壁部は、前記タンクの前記側壁部から離間し、
前記副壁部と前記側壁部との間には、第 3 開口部が形成され、
前記第 2 開口部と前記第 3 開口部とは、車両前後方向においてオフセットされている、
請求項 6 に記載のタンク。

30

【請求項 10】

前記内側貯留部には、前記ポンプと隣り合って配置され、前記添加剤を加熱するヒータが設けられる、
請求項 1 に記載のタンク。

【請求項 11】

前記タンクは、車両前後方向に延びた長尺状であり、
前記ポンプと、前記ポンプを取り囲む前記貯留壁と、は前記タンクの車両前後方向における一方側に配置され、
前記貯留壁は、車両前後方向における前記一方側の高さよりも、他方側の高さが高い、
請求項 1 から 10 の何れか一項に記載のタンク。

40

【請求項 12】

前記タンクは、車両前後方向に延びた長尺状であり、
前記ポンプと、前記ポンプを取り囲む前記貯留壁と、は前記タンクの車両前後方向における一方側に配置され、
前記貯留壁は、前記副壁部が接続される部分を境界として、車両前後方向における前記一方側の高さよりも、他方側の高さが高い、
請求項 7 に記載のタンク。

50